

正 答 表 数

1	[問1]	7			5	
	[問2]	$\frac{9a+5b}{4}$			5	
	[問3]	$2\sqrt{3}$			5	
	[問4]	5			5	
	[問5]	$x = -1, y = 6$			5	
	[問6]	$-8 \pm \sqrt{2}$			5	
	[問7]	①	ア	②	オ	5
	[問8]	あ いう	あ	い	う	7 1 2
	[問9]					6

2	[問1]	①	イ	②	ウ	5
	[問2]	<p>[証明]</p> <p>1 辺の長さが <math>2a</math> cm の正方形の面積は <math>(2a)^2 \text{ cm}^2</math>、この正方形の各辺に接する円の面積は <math>\pi a^2 \text{ cm}^2</math> で、タイルが <math>n^2</math> 枚あるから、</p> $X = \{(2a)^2 - \pi a^2\} \times n^2$ $= (4a^2 - \pi a^2) \times n^2$ $= (4 - \pi)a^2 n^2 \dots\dots\dots (1)$ <p>タイルを縦と横に <math>n</math> 枚ずつ並べてできる正方形と同じ大きさの正方形の1辺の長さは <math>2an</math> cm、この正方形の各辺に接する円の半径は <math>an</math> cm であるから、</p> $Y = (2an)^2 - \pi \times (an)^2$ $= 4a^2 n^2 - \pi a^2 n^2$ $= (4 - \pi)a^2 n^2 \dots\dots\dots (2)$ <p>(1), (2) より、</p> $X = Y$				7

学

(3 一次・分割前期)

3	[問1]	え	え	2	5	
	[問2]	①	イ	②	ア	5
	[問3]	1 2				5

4	[問1]	イ				5
	[問2]	①	[証明]			7
	<p>仮定から、<math>AB = AP</math> だから、  <math>\triangle ABP</math> は二等辺三角形である。                  二等辺三角形の底角は等しいから、  <math>\angle ABP = \angle APB</math>                  よって、  <math>\angle ABP = \angle QPR \dots\dots\dots (1)</math>                  四角形 <math>ABCD</math> は長方形だから、  <math>AB \parallel DC</math>                  平行線の同位角は等しいから、  <math>\angle ABP = \angle QRP \dots\dots\dots (2)</math>                  (1), (2) より  <math>\angle QPR = \angle QRP</math>                  よって、<math>\triangle QRP</math> において、                  2つの角が等しいから、</p> <p style="text-align: center;"><math>\triangle QRP</math> は二等辺三角形である。</p>					5
	[問2]	②	お か き	お か き	4 8 5	5

5	[問1]	く	く	5	5
	[問2]	け こ さ	け	9	5
			こ	6	
		さ	5		

- ※ 1 [問7] 全て「正答」で、点を与える。
- ※ 2 [問1] 全て「正答」で、点を与える。
- ※ 3 [問2] 全て「正答」で、点を与える。